

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市子育てふれあいプラザ若林
2 指定管理者	せんだいファミリーサポートネットワーク・冒険あそび場せんだいみやぎネットワークグループ
3 指定期間	平成29年10月1日～令和4年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》 8,558人（前年度比29.5%） 内訳 ひろば利用者 7,920人 託児利用者 638人 ※視察等の利用者 174人 平成29年度 17,467人 平成30年度 31,643人 令和元年度 29,009人</p> <p>《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供、子育てに関する相談、情報提供等、子育てを総合的に支援する事業</p>
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 24,939千円 (23,474千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 1,371千円 (2,814千円) その他収入 21千円 (146千円)
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見箱の設置 イベント開催時に、参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>協定書に示す関係法令及び条例等を遵守し、また、条例に規定する施設の設置目的を職員が理解し施設の運営を行っている。</p> <p>利用者アンケートの満足度も総じて高く、子育てを総合的に支援し、子育てが安心してできるまちの実現に大きく貢献している。</p>	21/21
II 施設の運営管理体制	<p>各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化されている。</p> <p>個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取組がなされている。</p>	29/29
III 施設・設備の維持管理	<p>乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で、遊具等が破損していないか、利用者が快適に利用できるかなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。</p>	19/19
IV サービスの質の向上	<p>各イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置など、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けている。</p> <p>職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把握しながら、乳幼児親子の交流の場の提供（ひろば事業）や一時預かり事業、子育てに関する情報収集、提供事業などを適切に実施している。</p>	9/9

三 評価総括

《指定管理者（せんだいファミリーサポートネットワーク・冒険あそび場せんだいみやぎネットワークグループ）による自己評価》
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館後は、再開を待ち望み、職員との交流を喜ぶ利用者の姿に、のびすく若林に対する期待の大きさを感じ、身近な存在として受け入れられていることを強く感じた。受け入れについては、入館時の検温や館内の消毒を徹底し、安心して利用できるという声を多くいただいた。新しい利用の仕方について、丁寧にわかりやすい説明を心がけ、相手の立場に立って対応を行った。コロナ禍での来館や初めての来館など、利用者の不安や緊張に職員一人ひとりが気持ちに寄り添い、笑顔で温かく迎え入れ、居心地の良い雰囲気づくりを行った。</p> <p>一時預かりでは、受け入れ時の聞き取りやお迎え時の伝達を保護者に対し丁寧にいき、室内の換気・消毒を徹底して感染予防に努め、安全で安心な預かりを行った。子どもが自発的に遊べる環境づくりや、興味関心を引き出すおもちゃを職員が手作りするなど、遊びを充実させ居心地よく過ごせるよう努めた。</p> <p>休日に父親の姿が多く見られることから、「パパと一緒になかよしタイム」として父親主体で行ったところ、積極的な父親の参加を引き出すことができた。</p> <p>日常的にふるさと広場で外遊びを行い、自然に触れて遊ぶ中で親子の新たな興味関心を引き出し、外遊びの楽しさを体感する機会となった。</p> <p>若林区役所家庭健康課と日常的に情報交換などを行い、それぞれの特性を活かして連携し、関係性を強めることができている。また、七機関連絡会の定例会や消防訓練へ参加し、地域連携や防災に備えた協力関係を築くことができている。</p> <p>施設の消毒・清掃・整備については、職員全体で徹底していき、安全で安心な施設運営にあたった。職員一人ひとり支援者としての専門性の向上に努め、居心地の良い居場所の提供に努めていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、ふるさと広場（若林区役所南側の公園）に隣接していることから、外遊びを日常的に取り入れており、親子で自然とふれあい、楽しむ場を提供している。特にコロナ禍においては、外遊びを求める利用者の声も多く、このような施設の特徴を活かし、密にならずに楽しめるように企画運営を行った。</p> <p>相談事業においては、一時預かり事業や本市の委託事業である子育て支援専門相談事業とも連携して取り組み、適切な専門機関やサービスに繋げるなど、子育て家庭の不安や負担の軽減に大きく貢献している。</p> <p>また、コロナ禍で活動に制約のある中ではあったものの、南小泉児童館と協力してイベントを実施したほか、六郷市民センターと共催で出前のびすく「六郷子育てサロン」を実施するなど、地域の関係機関・団体と積極的に連携し、子育て支援の充実を努めている。</p>	<p>S</p>

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館となった際には、区役所や近隣の公園に積極的に出向き、チラシを配るなどして子育て支援情報等の周知を図るとともに、乳幼児親子との繋がりを作ることに努めた。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課